

熊本市の新型コロナウイルス感染症に係る ワクチン接種への対応について

健康福祉局 感染症対策課
ワクチン対策プロジェクトチーム



1. 接種の状況

1. 接種状況(VRS登録数)※3月10日時点

① 高齢者実績(65歳以上)

	1回目	2回目	3回目
接種回数	186,284	185,346	126,732
接種率	96.2%	95.7%	65.5%

② 全対象者(1・2回目…12才以上、3回目…18才以上)

	1回目	2回目	3回目
接種回数	571,216	567,351	197,016
接種率	87.6%	87.0%	32.3%

③ (参考)全市民における接種率

	1回目	2回目	3回目
接種率	78.0%	77.4%	26.9%

④ 接種回数及び接種率(年代別)

区分	1回目		2回目		3回目	
	接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率
10代	44,258	78.1%	43,548	76.9%	647	4.4%
20代	60,509	80.5%	59,845	79.6%	9,626	12.8%
30代	68,040	80.1%	67,424	79.3%	12,438	14.6%
40代	87,642	84.9%	87,135	84.4%	17,344	16.8%
50代	83,714	90.0%	83,406	89.7%	19,231	20.7%
60~64歳	40,759	89.9%	40,639	89.6%	10,997	24.3%
65歳以上	186,284	96.2%	185,346	95.7%	126,732	65.5%
(住登外など)	10	-	8	-	1	-
合計	571,216	87.6%	567,351	87.0%	197,016	32.3%

※接種率を算出する際の母数は、R3. 1. 1時点の住民基本台帳の値

2. 追加接種(3回目接種)の状況

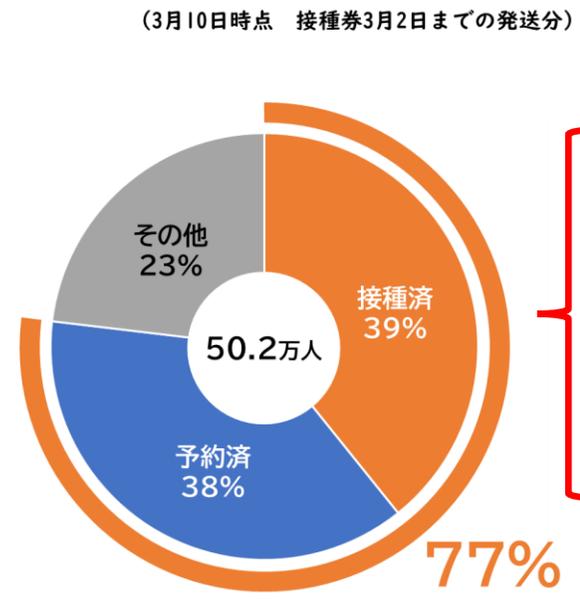
1. 予約の状況

- 全ての対象者の追加接種間隔を6か月とし、約50万人に接種券を送付済。(対象の95%)
- 接種を希望する高齢者への接種は3月上旬に概ね完了。
- 最終接種率を約8割と想定し、4月末までに接種完了できる体制を構築済。

【現在の接種状況】

ワクチンの接種・予約の状況

項目	人数
接種済	197,000人
予約済	189,000人
その他	116,000人
計	502,000人



【接種券の発送状況】

初回接種から6か月経過する方に、接種券を順次発送

接種券の発送

発送日時	発送数
1/26まで発送分	185,000人
2/2発送分	21,000人
2/9発送分	72,000人
2/22発送分	151,000人
3/2発送分	73,000人
計	502,000人

2. 追加接種(3回目接種)の状況(つづき①)

2. 受付の状況

(1) 予約サポートセンター

- 開設期間: R4.1.15~R4.2.20までの土曜・日曜開設
- 開設時間: 8時30分~16時
- 開設数: 公設公民館19か所(中央公民館除く)

(単位:件)

1月15日 (土)	1月16日 (日)	1月22日 (土)	1月23日 (日)	1月29日 (土)	1月30日 (日)
予約数	予約数	予約数	予約数	予約数	予約数
6	1	125	12	1,207	162
2月5日 (土)	2月6日 (日)	2月12日 (土)	2月13日 (日)	2月19日 (土)	2月20日 (日)
予約数	予約数	予約数	予約数	予約数	予約数
3,226	297	919	88	281	51

<地域での予約サポート>

開設数 4か所 開設日 1/15~2/8 受付数 79件

- (内訳)
- 帯山コミュニティセンター 1/29:9件、2/5:13件
 - 帯山校区第6町内公民館 1/29:23件、2/5:19件
 - 尾上コミュニティセンター 1/15~16:利用者なし
 - 新地団地第一集会所 ~2/8(随時対応):15件

(単位:件)

区	施設名	予約数
中央区	大江公民館	578
	五福公民館	230
東区	秋津公民館	377
	東部公民館	431
	託麻公民館	514
西区	花園公民館	418
	河内公民館	11
	芳野分室	42
	西部公民館	452
南区	飽田公民館	136
	天明公民館	89
	幸田公民館	394
	火の君文化センター	442
	南部公民館	341
	アスパル富合	240
北区	清水公民館	429
	北部公民館	352
	龍田公民館	369
	植木文化センター	530
合計		6,375

※(参考)初回接種時(R3.5.29~6.4、6.19~6.25) 9,146件

2. 追加接種(3回目接種)の状況(つづき②)

(2)コールセンター

○体制 最大300回線:8時30分～19時

≪予約受付期間のうち、予約開始日・翌日を抜粋≫

(単位:件)

1月15日(土)		1月16日(日)		1月22日(土)		1月23日(日)		1月29日(土)		1月30日(日)	
入電数	受電数	入電数	受電数	入電数	受電数	入電数	受電数	入電数	受電数	入電数	受電数
1,346	1,257	350	348	2,048	1,711	433	430	13,796	7,045	1,093	1,081
2月5日(土)		2月6日(日)		2月12日(土)		2月13日(日)					
入電数	受電数	入電数	受電数	入電数	受電数	入電数	受電数				
20,595	7,692	1,977	1,919	4,200	3,255	668	664				

(参考)最も入電数が多かった日・翌日の時間帯別状況

時間帯	2月5日(土)			2月6日(日)		
	入電	受電	割合	入電	受電	割合
8時30分～10時	7,570	1,440	19.0%	805	764	94.9%
10時～12時	5,427	1,550	28.6%	413	404	97.8%
12時～14時	3,175	1,288	40.6%	286	281	98.3%
14時～16時	2,257	1,700	75.3%	209	207	99.0%
16時～18時	1,679	1,240	73.9%	222	221	99.5%
18時～19時	487	474	97.3%	42	42	100.0%
計	20,595	7,692	37.3%	1,977	1,919	97.1%

(所感)

午前中は電話は混みあったが、午後には電話もつながる状況となり、一日で見ればほぼ全ての方に対応できたと考えられる。

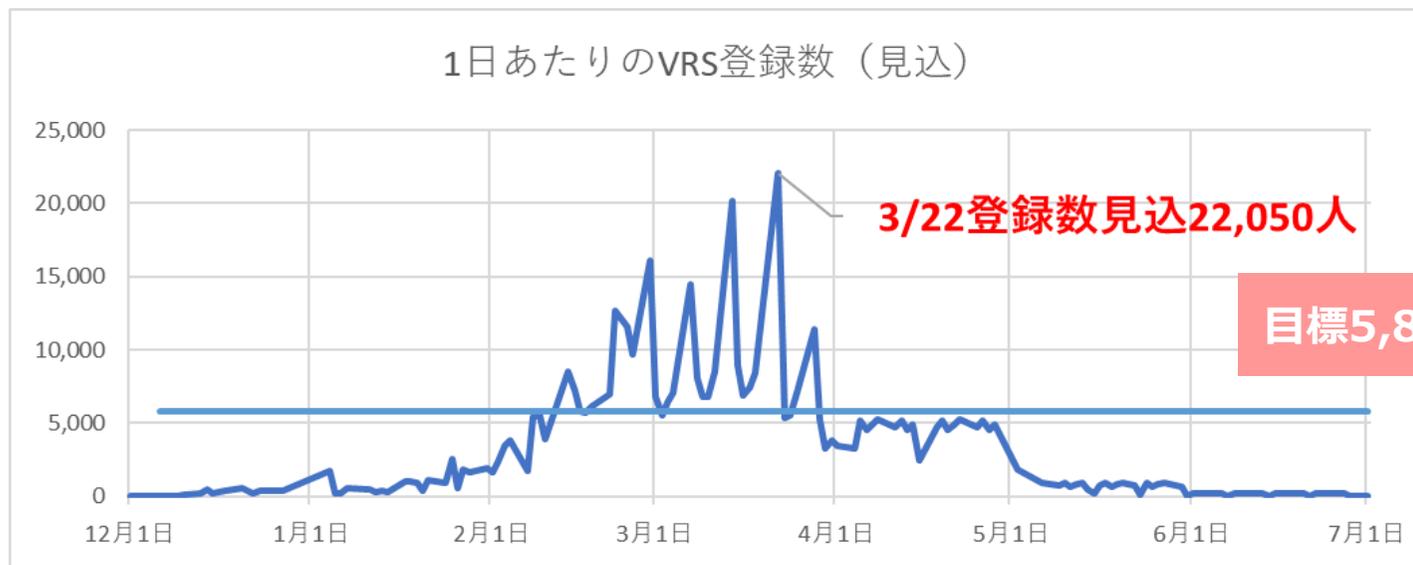
2. 追加接種(3回目接種)の状況(つづき③)

3. 加速化に向けた予約枠拡充

- ・3月中旬以降、新たに4.6万回分(ファイザー3.5万回、モデルナ1.1万回)のワクチン追加供給が決定。
- ・国からワクチンが配送され次第、地域医療機関でのファイザー予約枠(約3万回分)を拡充。
- ・拡充する接種期間は、令和4年3月下旬～5月8日。

【参考】本市の1日あたりの接種者数（VRS登録数） ※最終接種率を約8割とした場合

2月下旬から3月上旬にかけて、政府の「1日100万回」の目標（本市目標約5,800回/日（100万回の本市人口按分値））以上の接種回数が見込まれ、3月上旬かけてピークを迎える見込みであり、高齢者の追加接種については、2月下旬から3月上旬には概ね完了する見込み。



3. 小児接種の概要

4月までに計3.9万人分の小児用ワクチンを確保できたことから、以下のとおり小児接種を実施。

1. 対象見込数

- ・ 5歳から11歳以下の方（対象者数：4.8万人）
- ・ 接種率6割（ラインアンケート）と想定した場合
- ・ 接種見込数は約3万人

2. 接種スケジュール

- ・ 接種券一括発送：3月10日（木）
- ・ 第1期予約開始：3月19日（土）
- ・ 第1期接種開始：3月28日（月）開始
- ・ 第2期予約開始：4月30日（土）
- ・ 第2期接種開始：5月9日（月）開始

※3週間の間隔をあけて2回接種。第3期以降は、予約状況に応じて検討。

3. 接種体制

	第1期		第2期	
	場所	時間	場所	時間
個別接種	地域の医療機関 約100ヵ所	各医療機関による	同左	
集団接種 (民間ホテル)	ニュースカイ	平日：16時～20時 土日：10時～18時	KKRホテル	同左
集団接種 (公共施設)	城南総合SC 植木かがやき館	土曜：14時～18時 日曜：10時～18時	同左	

<先行接種>

重症化リスクが高く、主治医により接種が必要と判断され、保護者が接種に同意している小児に対し、熊本大学病院等で接種（3月15日(火)以降順次開始・数十人程度）

【対象と考えられる基礎疾患の例】

- ・ 人工呼吸器を装着して長期療養中の小児
- ・ 小児がんや白血病などの血液疾患の小児
- ・ 重篤な循環器・腎臓・肝臓疾患の小児
- ・ 高度肥満の小児
- ・ 重篤な代謝障害・神経障害の小児 など

3. 小児接種の概要(つづき)

4. 関係機関との連携・情報の発信

・新聞等による情報の発信

熊本市医師会
鹿本医師会からの
コメント

小児への新型コロナワクチン接種は、重症化リスクを軽減するなど12歳以上の健康な子どもへの接種と同様に意義があると考えています。一方で接種後の副反応についても考慮し、メリット、デメリットを本人と保護者等が十分話し合い、ご理解していただいたうえで、接種をご判断ください。心配な時は、かかりつけの医師や接種を行う医療機関にご相談ください。

ワクチン効果について

発症予防効果

90.7%

出典：厚生労働省HPより

5～11歳の2回目接種後1か月の免疫原性は、16～25歳の2回目接種後1か月と比較して同等と報告されています。接種にあたってご心配がある方は、あらかじめかかりつけ医にご相談ください。

小児のワクチン接種が進むことにより、同世代における重症例の発生が抑制されるだけでなく、中高年代を含む人口全体における感染者数を減少させる効果が期待されます。

※2回目接種後7日以降の発症予防効果です。またオミクロン株が出現する前のデータです。
また、ワクチン接種における「重症化予防効果」については現時点では確認されていません。

※免疫原性とは、体内で免疫反応を引き起こす能力のことです。

出典：厚生労働省HPより

接種後に起こることがある副反応

ワクチン接種後の副反応は、ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

症状が出た人の割合	症 状
50%以上	注射した部分の痛み、疲れた感じ
10～50%	頭痛、注射した部分の赤み・はれ、筋肉痛、寒気
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。

接種後に気になる症状が認められた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

出典：厚生労働省HPより

(地元新聞・情報誌広告3/10掲載)

・従来の「接種の手引き」に加え、新たに作成した「補足資料」を接種券に同封し送付(3/10)

・市ホームページ内に、小児接種に関するページを開設(2/16)